

大網ロータリークラブ

Club Weekly Bulletin



- クラブ創立：2000年1月13日
- 例会日：第1・第3水曜日（12：30～13：30）
- 例会場：中部コミュニティセンター
TEL0475-73-3337 FAX73-4360
- 事務所：〒299-3251
大網白里市大網450-6 ユアサビル2階
TEL0475-70-0200 FAX70-0220
- 会長：高野 祐二 幹事：板倉 孝雄
- 広報・公共イメージ向上委員会
委員長 齊藤 幸男・会報担当 石田 英世



2021年6月16日(水)

第22巻第21

通巻第964

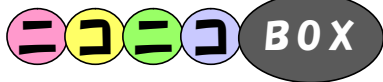
http://www.oamirotary.com
E-mail rc@oamirotary.com



ロータリーは機会の扉を開く



点 鐘 会長 高野 祐二
ソング 手に手つないで
会長挨拶 会長 高野 祐二
幹事報告 幹事 板倉 孝雄
プログラム
会員卓話 高野会長、板倉幹事御礼挨拶



なし

| 例会日 | 6月2日 | コロナ禍の為休会 |
|-----|-------|----------|
| 会員数 | 30 | 30 |
| 出席 | 18 | 0 |
| 欠席 | 12 | 0 |
| MU | 0 | 0 |
| 免除 | 0 | 0 |
| 出席率 | 60.00 | 0 |

会長挨拶

高野 祐二 会長

皆様こんにちは。6月に入り、私の任期も1か月を切りました。コロナの状況はあまり改善されませんが、ワクチン接種は徐々に進んできております。ただ大網白里市においてははまだ一般の方の接種は行われていない状況であります。1日も早くワクチン接種が望まれます。

本日の挨拶は、財団室NEWS6月号に掲載されておりますポリオプラスと、深刻な状況下にあるインドについてお話させていただきます。

まず始めにポリオプラスについてですが、当クラブは先日板倉幹事が、財団のポリオへの寄付をしていただきましたので、今まで寄付金が0でしたが、寄付金クラブとなりました。ありがとうございます。アフリカ大陸での野生型ポリオウィルスによる症例は昨年0となりました。現在アジアの2か国パキスタンとアフガニスタンが常在国となっております。

ワクチンの歴史は研究者によると、1963年以来、ワクチンによって命が救われた人の数は約1000万人に上ると推定されています。ロータリー会員はワクチンの効果をよく知っています。経口ポリオワクチンのおかげで、1988年以来、野生型ポリオの発症件数は99.9%減少しており、現在、野生型ポリオによる発症が報告されているのは世界でわずか2か国のみとなっています。新型コロナワクチンが世界中で配布されつつある現在、ロータリーと世界ポリオ根絶推進活動のパートナーが培ってきた経験と知識が新型コロナへの対応に役立っています。2020年パキスタンで84例、アフガニスタンで56例でしたが、今年度の5月25日現在2か国とも1例ずつの症例となり、あと一息というところまで来ております。ロータリーの長年での悲願でもあり1日も早く根絶されることを願います。

次に、深刻な状況にあるインドへの支援をお願いいたします。ワクチンの開発と配布は、世界の一部地域において、希望と期待、そして正常な状態への回復というビジョンをもたらしました。しかし残念なことに、多くの地域では大幅に遅れが生じており、最近の大規模感染により、これまでで最も高い感染レベルに達しています。患者の数は1日に40万を超え、深刻な酸素不足、病院のベッド不足、死者数の増加など、インドでの惨状は一向に緩和する気配がなく、支援が急務となっています。また、ブラジルをはじめとする数多くの国も同様の問題に直面しており、支援の必要性が高まっています。そのため現在、酸素濃縮器や人工呼吸器などの物資や機器、その他必要なものを送り、支援を行うことを呼び掛けております。

地区内クラブと協力し、物資を必要としている国のロータリークラブと連携して物資の現物支給を促進し、業者を通すか、あるいは自費で物資を送送するための調整を行っていただくことを進言させていただきます。また、他のクラブや地区、地元団体と協力して作業を行うこともできます。と掲載されております。今年度、私が行っております寄付金活動ですが、よろしく願いいたします。

奨学金授与式



ニルセンさん

現在、私の国に存在するコロナと洪水について心配して頂き非常に感謝しており、皆様の支援と貢献に心から感謝しています。

私の研究のテーマを紹介いたします。テーマはスリランカの高齢者の危機管理です。高齢者の危機管理と言ったら、いろいろな問題があります。この問題の中で2つについて研究したいと思います。1つ目は安全：昔(1950年から1985年位)家族のメンバーが多かった。このとき両親と子供で12人、13人位いました。1986年から今までの間で家族のメンバーは少なくなりました。今両親と子供で5人、6人位です。今は子供2、3人いる家族でみんな仕事している為、高齢者の両親が家で住むことはとても危険です。また安全ではない。

このためにケアセンターがあった方が良くと思います。2つ目は医療危機：障害ある高齢者の方が病院に行くことが大変です。例えば麻痺の病気の方が毎月病院に行くことが難しいです。1981年から2001年の間のデータを調べた時、障害のある高齢者の人が増えていることがわかります。障害者が家に帰って治療を受けることができず医学的な危機を取り除くことができると思います。

コロナ禍の中、今後障害のある高齢者の方が自宅で治療するためにスリランカで訓練を受けた看護師を準備する方法を考えています。この為、日本の高齢者のケアと看護師のことを調べています。皆様の意見も教えていただければ良い研究ができると思います。よろしくお願い致します。



当年度親睦活動について

①6/24 (木) 大網RC親睦ゴルフ大会開催
会場：季美の森カントリークラブ
集合9時 スタート9時37分 3組

②次年度事業計画について

次期小倉会長・次期石田幹事
例会の開催等 月2回 (以上) 状況により
理事会の開催・役員名簿の提示
理事会開催 7/7 (水) 第1回
例会開催 第1 (水) 第3 (水)

事業計画書の作成 〆切 6/23 (水)迄

③スリランカのコロナ対策と洪水災害への支援
金について 四之宮会員

ロータリーのスリランカクラブ・コスモス奨学
金 鈴木会長のお願ひ

スリランカでは、4月のお正月行事を契機にコロナの感染者が爆発的に増加しています。

4月までは1日100人から200人程度だった感染者が、お正月以降、1日約3,000人の感染者が出ています。

感染者は5/26で172,277人、韓国の137,682人を抜いています。

里子にも感染者が発生しています。

医療事情も逼迫しているようで、感染者をどこの医療機関でも受け入れられない事態になっており、6月7日までは、スリランカ全土に外出禁止措置がとられています。その上、豪雨による洪水で、ガンパハ、キャンディ、ゴール、カルタラ地域では、家の中にまで洪水に襲われた家庭があります。

物価も高騰し、昨年お米10kgが1,000ルピーであったものが、現在1,600ルピーもするそうです。各地域のお坊さん達からの情報では、1日何も食べれない里子もいますし、多少の差はあるものの里子達は皆食べ物に苦勞しているとの事です。皆様のご支援をお願いします。

※クラブより3万寄付 (本日(6/2)の寄付と会長一任とする)

④各部報告

1. 子ども食堂支援報告
(社会奉仕委員会 大越委員長)

次回 11月27日 (土) 予定

第2790地区 セミナー会議等の予定

①6月12日 (土) ZOOM交流会

第2回ROTEX・ロテックス (青少年交換学友) 向け分科会

時間 18:00-20:00 (ZOOM開催) 登録締め切り 6月4日 (金)

②次年度ガバナー公式訪問予定

10月6日 (水) 午後14時 単独開催

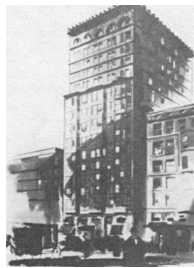
次年度ガバナー補佐訪問予定

9月15日 (水) 午後12時〜

「日本のロータリー100周年を祝う会 配信動画 視聴」

<ロータリークラブの誕生>

1905年(明治38年)2月23日(木曜日)、ロータリークラブは誕生します。その日は小雪交じりの身を切るような寒い日でしたが午後遅く、ポール・ハリス (Paul P.Harris) とシルベスター・シール (Silvester Schiele) はイルノイ街18にあったマダム・ガリ (MadameGalli) の店で夕食を共にしながら“実業人が友愛の心を持って親しみ合い、仕事上でも友の輪を広げ、親睦とビジネスを推進する”という新たな構想について話し合っていました。数日前には二人の共通顧客である、鉱山技師のガスターバス・ローア (Gustavus H.Loehr) とともに話し、この構



想案に大賛成したローアは是非、自分の事務所で発会式を主催したいと申し出ていました。二人は夕食後ディアボーン・ストリート127番地ユニティ・ビル7階にあるローアの事務所へと向かいます。そこには、ローアの友人で生地も扱う洋服仕立屋のハイラム・ショーレ (Hiram E.Shorey) も招かれており4人で更に話し合いを重ねました。ローアの事務所には会議室など無かったので4人は机の周りに椅子を引き寄せ、改めて自己紹介や自分の職業やシカゴに來たいきさつなどを簡単に話すと、その経緯は驚くほど似通っていました。ポールはここシカゴには、真の心通う友人がいないこと、欲得だけの商売が横行していること、私生活や仕事で信頼できる人がおらず、寂寥感だけが漂っていること、など感じるままに話し「私たちが、かつて田舎町で経験した“困った時の相互協力や悩みを話せる打ち解けた親睦”という信頼に満ちた仲間を基本とするクラブを結成したい」と提案をしました。同業者による競争を避けるため「一業種一人」の原則の元、様々な事業者、法律家、医師、実業家、生産者など、皆で会員を推薦しあうこと、ただ人柄だけは全員の信頼に足りる人物だけに限ることで、必然的に互恵的な取引だけでなく親睦も深められ、街一番の経営者達による組織に発展するに違いないと、確信しました。4人は会員にふさわしい人物を勧誘し今後の会合に連れてくることを約束しました。

ポールは翌日、自分の事務所の印刷を依頼しているハリー・ラグレスを訪れ、彼は5人目の会員となります。ハリーはポールが死亡した時に存命していた唯一の創立会員であり、後にロータリーソングを唄うことを提案した人でも有名です。2回目の会合はポールの事務所で開かれハリーの他、新たに不動産屋ビル・ジェンソン、楽器屋アルバート・ホワイトが加わり、会員数は7人となります。3回目の会合は、シールの貯炭事務所で1905年3月23日に開かれ、15人が出席したこの会合は、初めて議事を話しあった最初の会合となりました。最初の議題は、この集まりの名称で様々な案が提案されましたが、シールが会合を各人の事務所で輪番に開くことから“歯車を模したロータリー”という名称を提案し、全会一致で可決されました。

この他に会費は徴収しない。会合を欠席した会員からは50セント徴収する。会員身分は1年間有効だが毎年審査を設け、継続するには、それぞれの入会記念日に全会員数の75%以上の賛成票を得る必要がある。会員の一人でも反対があれば新会員の入会は出来ない。等が決まり、最初の役員理事も選任されました。ポールが個人の主旨と熱意からスタートさせ実質的な主宰者でしたから初代会長になるのが極めて自然でしたが、彼は謙虚な人柄から互譲の精神こそ必要と考え、シール(石炭商)を初代会長に推薦し決定しました。創立の4人のうち洋服屋のショーレは、その後2回例会に出席したものの、鉱山技師のローアと共に健康状態が悪化し退会してしまいます。ただ2人とも常にクラブを応援し、ロータリーの発芽期に自分が参加したことを誇りに思うと発信しています。

1年余り後には、会員数が80名に増えました。

<初期のロータリークラブ>

シカゴ・ロータリークラブの4回目の会合はハイラム・ショーレーの洋服屋で、5回目はビル・ジェンソン不動産会社事務所で、6回目はハリー・ラグレスの印刷所で開催されました。発足から6回目この会合では会員の増大から各会員の事務所を使っているのが困難となっていました。会員のアル・ホワイトはホテルを会場にすることを提案し、バルコニーにあった会議室をクラブに無料で使用出来るよう支配人と交渉し、7回目以降はホテル内で食事も兼ねた例会が開催されるようになりました。7月と8月を除き例会は通常隔週で開催され、昼食または夕食を兼ねるという伝統も始まり、以後ホテルを恒久的な例会場にするようになりました。



創立後3年程経ったシカゴクラブの秋の夜例会で、奉仕強調派と親睦重視派の対立が表面化し、懇親の雰囲気など感じられない険悪な雰囲気になった時、ハリー・ラグレスが“Come on Fellows let's Sing”(皆で歌を唄おう)と呼びかけ、当時流行っていた歌を唄い出すと、これをきっかけに全員による大合唱となり、結果会員に笑顔が戻り、友愛心が取り戻され、メンバーは再びクラブ活動に専念するようになったということ以来、例会での全会員による合唱はロータリーの伝統となりました。

日本で唄われる「我等の生業」は職業奉仕の重要性が、「奉仕の思想」は職業奉仕を通じ世界平和が、「手に手繋いで」は会員拡大と親睦が、「それでこそロータリー」は親睦と世界平和がテーマになっています。